

第11号様式（第5条関係）

政務活動記録簿（県外・県内視察）

会派・議員名 浦西 敏史

年 月 日	令和元年11月25日・26日			
政務活動先	福井県			
政務活動の目的	脱原発に向けての情報を収集し、議会での活動に活かす。			
相手方	関西電力、福井県議会、日本原子力研究開発機構、中島哲演師			
内容、結果等 ※視察の効果を明記のこと	<ul style="list-style-type: none"> ・美浜原発視察（三方郡美浜町、関西電力） ・もんじゅ視察（敦賀市、日本原子力研究開発機構） ・福井県議会（福井県議會議員） ・小浜市 明通寺（中島哲演師） <p>今回の視察で得たことを、議会等の質問に活かしていきたい</p>			
視察活動に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額
	宿泊費	9,440円	内訳:ドーミーイン福井	10
	会費	円	内訳:	
合計	9,440円	(すべて政務活動)		
備考	添付資料：別添のとおり			

注 視察先で入手した資料や写真等を添付してください。

脱原発をめざす奈良県議会議員連盟

2019年度県外調査(1泊2日) 行先: 福井県(敦賀市・福井市)

現在関西電力では、耐用年数40年を超えた高浜原発1・2号機と美浜原発3号機(福井県)について、耐用年数を60年まで延長し再稼働させようとしていることが問題になっています。また、高速増殖炉“もんじゅ”は事故が相次ぎ使用の目処が立たず、廃止に向かっています。これらの現状を調査し、福井県議会の有志の議員と懇談を行うことで知見を深めようとする視察です。議員各位の参加をお願いいたします。

【初日】11月25日(月)

7:30 奈良県庁集合 レンタカー(多人数の場合は観光バス)で福井方面へ
10:00 美浜原発視察 (三方郡美浜町、関西電力)
12:00 昼食
13:00 もんじゅ視察 (敦賀市、日本原子力研究開発機構)
15:30 初日の視察終了 福井市へ
17:00 福井市到着、ホテルへチェックイン
18:00 夕食交流会

【2日目】11月26日(火)

8:30 ホテル出発
9:00 福井県議会で脱原発の立場の県議らと懇談
11:00 県庁出発 途中で昼食
13:00 小浜市・明通寺(国宝)見学 中薗哲演師(脱原発運動の先駆者)のお話を伺う
14:30 小浜市出発
17:00 奈良県庁到着 解散

費用: 政務活動費使用を除き、約1万円(手土産代、昼食代2回分、懇親会費、高速代など)

日本原子力研究開発機構はセキュリティ確保のため身分証明書(顔写真付き)の提出を求めています。参加希望者は顔写真のついた身分証明証(運転免許証のカラーコピーか、議員証)の提出をお願いします。

参考: 過去の県外調査

- ◆ 2017年11月20~21日 青森県(六ヶ所村調査、青森県議会議員と懇談)
- ◆ 2016年5月24~26日 宮城県(女川原発視察、女川町復興調査、脱原発議員の会と懇談)
- ◆ 2013年8月19~21日 福島県(浪江町・双葉郡の被災状況調査、仮設住宅訪問)

参加希望の方は、10月21日(月)本会議までに、日本共産党控え室の
[REDACTED] または 太田 [REDACTED] まで。

第11号様式の5(第5条関係)

政務活動記録簿(広報紙の発行・発送等)

会派・議員名浦西 敏史

年月日	令和2年2月4日(月)				
表題と発行部数	県政報告 vol.1				
対象者	吉野郡全域				
配布方法	新聞折込(吉野郡全域) 9700部 ポスティング 2000部 街頭配布 1300部				
発行目的	9月議会、12月議会の報告を行い、意見・要望を求める				
按分率の説明	按分率 75% 理由(後援会活動、政務活動以外の記事が全体の25%を占めるため、75%とした)				
内容	9月議会、12月議会での一般質問の内容				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	印刷作成費	山本印刷	362615円	チラシ 22×13000 部 折込 4.5×9700 (税抜)	NO.21
	※ 75%充当 合計 271961円				
備考	添付資料:				



奈良県議会議員

浦西 あつし

- ・厚生委員会
- ・地域公共交通対策等特別委員会

ご意見・ご感想をお聞かせください。
uranishi0712@gmail.com

〒638-0041 奈良県吉野郡下市町下市 2667-3

令和元年9月定例会

- ・南部・東部地域の関係人口増加に向けた拠点づくりについて

(答弁 荒井知事)

- ・健康寿命日本一に向けた減塩・野菜摂取の取組について

(答弁 鶴田医療政策局長)

- ・林業・木材産業の振興について

(答弁 杉山農林部長)

- ・教育におけるICT環境の整備について

(答弁 吉田教育長)

南部・東部地域の関係人口
増加に向けた拠点づくり

吉野郡への移住者の
交流施設等を今後設置を!

問

県では、市町村と連携し、
移住促進施設の整備に取り
組まれてきたが、これまでの整備
状況とその成果はどうか。また、

今後さらに、南部・東部地域の関
係人口増加のためには、若者を中
心とした移住者や地域内の人材が
集まり、育つような拠点づくりも
必要と考えるがどうか。

答

昨年度までに9市町村にお
いて13施設の整備を支援し
た。延べ来訪者数が7千人を超え、
26人の移住につながった施設や、
東京からリターンし起業した方な
どがオフィス入居し、さらに県域
を越えた交流が生まれた施設もあ
ります。今後の取組としては、南
部・東部地域に移住者や地域内の人
材が「集まる」「つながる」「育つ」
小規模多機能な拠点の整備が必要
と考えており、市町村とも連携し
ながら、積極的に取り組んでいき
ます。

新春のご挨拶

令和2年2020年の新春を心よりお
慶び申上げます。昨年は4月に統一地方選挙があり、県
議会議員選挙にて初当選させていただ
きました。

これまで地域の皆様方には温かく見
守って、育てていただき本当にありがとうございました。

県議会という新たなステージで皆様方
の代弁者として頑張っていきます。

昨年9月と12月の議会で一般質問を行
なったので、質問内容をご覧いただけ
ればと思います。

さて、今年は東京で2回目の東京オリ
ンピックが開催される2020年は日

本にとつて大きな節目となります。ま
たこの年は「子年」にあたり、再び新
しい十二支のサイクルがスタートする
年であり、「子年は繁榮」と言われてい
ます。吉野地域の未来に大きな期待が
持てると感じております。

自分も、4月を迎えると県議会議員の
2年目を迎えます。初心を忘れずに、
誠意 情熱 実行を持った「大好き
な吉野の未来の為に!」皆様のご期待
にきちんとこたえられるよう精一杯
全力で働かせていただきます。
どうか皆様、今後も変わらぬ指導と鞭
撻のほど、よろしくお願ひいたします。

浦西 あつし

健康寿命

日本一を目指して

うに推進していかれるのか。

答 べき地の学校ではハードやネットワークの環境が整っています。現在、県教育委員会で

は、国へ特例校申請の準備をしていて、一年間を通じた遠隔授業を

来年四月から実施したいと考えています。遠隔授業が小規模な学校

や僻地の学校の教科学習の質の向

上につながるよう、教育研究所が支援をしていきます。

問 健康寿命日本一を目指す中、減塩・野菜摂取の本県の現状と、その現状を踏まえた今後の取り組みについて

答 本県の減塩・野菜摂取の現状につきましては、平成二十八年の国民健康・栄養調査では、塩分摂取量が一日八グラム以下との目標に対し、男性は十・六グラム、女性は九・二グラムと、いずれも摂取量が目標値を超えており、野菜摂取量についても、一日三百五十グラム以上の目標に対し、男性は二百七十九グラム、女性は一百六十三グラムと、目標値を大きく下回っています。県では、従前から親子減塩教室の開催などに加えて、県内のスーパー、マーケット等で販売される惣菜、弁当などの減塩と野菜の増量に取り組む事業「やさしおベジ増しブロジュークト」を取り組んでいます。

問 県の林業と木材産業の振興材をより一層図るために、吉野材のブランド力を活用することが重要と考えるが、どのように取り組まれるのか。

答 木目や色合いが美しい優良材である吉野材については、商業施設の内装材として需要が見込まれる首都圏等において、建設業界へのセールス活動やPRイベントを行うほか、今年度からは持ち家率が高く、柱の見える住宅工法の多い北陸地域において、新たな市場開拓に取り組んでいるところです。また、首都圏の建設関係者等を対象に、奈良県の木の魅力を知つていただくための視察ツアーや、吉野ならではの木の育て方、また、木を育む環境等を体感する取り組みをしていきます。

**吉野材の
ついで力の活用を！**

出ないような取り組みを！

問 健康寿命日本一を目指す中、減塩・野菜摂取の本県の現状と、その現状を踏まえた今後の取り組みについて

答 木目や色合いが美しい優良材である吉野材については、商業施設の内装材として需要が見込まれる首都圏等において、建設業界へのセールス活動やPRイベ

問 これから教育において、ICT環境の充実は欠かせないものであり、小規模や都市部から離れた学校においても、教育の質を高めるために有効に活用していく必要があると考えますが、県としてICT環境整備をどのように

答 べき地の学校ではハードやネットワークの環境が整っています。現在、県教育委員会で

は、国へ特例校申請の準備をしていて、一年間を通じた遠隔授業を

来年四月から実施したいと考えています。遠隔授業が小規模な学校

や僻地の学校の教科学習の質の向

上につながるよう、教育研究所が支援をしていきます。



令和元年12月定例会

- ・SDGsの推進について
- ・ジェンダーについて (答弁 橋本こども・女性局長)
- ・教育について (答弁 吉田教育長)
- ・宿泊施設の開業支援について (答弁 折原観光局長)
- ・鳥獣被害対策について (答弁 杉山農林部長)
- ・国道一六九号の整備について (答弁 山田県土マネジメント部長)

SDGsの推進
（ジェンダーについて）

SDGsの推進
（教育について）

宿泊施設の開業支援について

性の参画の実現や
女性への差別と暴力の撤廃！

持続可能な社会の
つくり手を育てるために！

魅力的な宿泊施設を
県内にふやすために！

さまざまな分野での女性の
活躍推進に取り組まれてい
るが、SDGsの推進のための具
体的にどのように取り組まれるの
か。

答 奈良市の中学校では、
春日山原始林の保全等を取り
扱う世界遺産学習を行っています。また、県立高等学校では、各教科や総合的な探究の時間を持ちまして、地球規模での環境問題、また、先進国と途上国との間に生じる経済格差などを取り上げ、生徒の学習成果の発表の機会を設けています。このような学習を推進するため、今年度、高等学校では、総合的な探究の時間の研究会を立ち上げ、複数の学校が参加して生徒や教員の学び合いの場とする学習発表会を企画し、郷土の伝統文化を尊重し、その理解を深めたた

め、全ての県立高等学校で現在、奈良TIMEを実施し、その学習を取り組んでいきます。

宿泊施設の質と量の充実を図るため、農家民宿や民泊などの開業に向けた支援をどのように行っていくのか

答 春日山原始林の保全等を取り扱う世界遺産学習を行っています。また、県立高等学校では、各教科や総合的な探究の時間を持ちまして、地球規模での環境問題、また、先進国と途上国との間に生じる経済格差などを取り上げ、生徒の学習成果の発表の機会を設けています。このような学習を推進するため、今年度、高等学校では、総合的な探究の時間の研究会を立ち上げ、複数の学校が参加して生徒や教員の学び合いの場とする学習発表会を企画し、郷土の伝統文化を尊重し、その理解を深めたため、全ての県立高等学校で現在、奈良TIMEを実施し、その学習

答 女性が希望に応じ働くこと
ができる、能力を生かしてキャ
リアアップできるよう、経営者や
女性職員を対象とするセミナーや
異業種交流会等の取り組みを行っ
ているところです。また、身近な
市町村における男女共同参画の推
進が重要なことから、策定がおこ
れている市町村の男女共同参画計
画の策定支援を現在進めていま
す。さらに、性暴力やDVの防止
に関する県民への意識啓発や、被
害に遭われた方への相談支援の取
り組んでいきます。

答 県として新たに宿泊施設の
開業を検討している方など
を対象としたセミナーを開催、開
業手続はもとより、県内外の魅力
的な取り組み事例などの情報提供
を行っています。また、宿泊施設
の開業に関する問い合わせや相談
に関しまして、県の四つの保健所
と奈良市の保健所が窓口となりま
して、市町村や消防などと連携し
て一元的に対応しています。宿泊
施設の質と量の充実に向けて、本県の豊かな地域資源を最大
限に活用しつつ、多様なニーズに
応える宿泊施設の整備に精力的に
取り組んでいきます。

答 県として新たに宿泊施設の
開業を検討している方など
を対象としたセミナーを開催、開
業手續はもとより、県内外の魅力
的な取り組み事例などの情報提供
を行っています。また、宿泊施設
の開業に関する問い合わせや相談
に関しまして、県の四つの保健所
と奈良市の保健所が窓口となりま
して、市町村や消防などと連携し
て一元的に対応しています。宿泊
施設の質と量の充実に向けて、本県の豊かな地域資源を最大
限に活用しつつ、多様なニーズに
応える宿泊施設の整備に精力的に
取り組んでいきます。

野生鳥獣による農林業への被害を食い止めるために！

県としてこれまで、野生鳥獣による農林業被害のより一層の軽減を目指して、地域ぐるみで取り組む活動に対し支援をしています。今後の取り組みとして、集落ぐるみの活動をより一層推進するため、集落リーダーの育成研修をはじめ、今年度新たに侵入防止柵の維持管理や、隠れ場所をなくす取り組みなどを支援いたします。モードル事業を県下四カ所で開始しました。また、新たな森林環境管理制度の取り組みの中で、林業経営に不利な人工林を自然林へ誘導することによって、森林に野生鳥獣を戻していくという取り組みも進めています。

問 野生鳥獣による農林業への被害は依然深刻な状況が続いている中、本県での鳥獣被害対策の状況と今後の取り組みについて

答 県としてこれまで、野生鳥獣による農林業被害のより一層の軽減を目指して、地域ぐるみで取り組む活動に対して支援をしています。今後の取り組みとして、集落ぐるみの活動をより一層推進するため、集落リーダーの育成研修をはじめ、今年度新たに侵入防止柵の維持管理や、隠れ場所をなくす取り組みなどを支援いたします。モードル事業を県下四カ所で開始しました。また、新たな森林環境管理制度の取り組みの中で、林業経営に不利な人工林を自然林へ誘導することによって、森林に野生鳥獣を戻していくという取り組みも進めています。

問 ある国道一六九号につきましては、急カーブ等が多く、線形不良が顕著な上北山村から下北山村の区間は早期の整備が必要であると考えますが、現状の取り組み状況と今後の見通しについて

答 これからまちづくりに関する計画、道路整備の必要性、地元情勢等が確認できましたので、先月より調査路線と位置づけて、線形不良区間ににおけるルート比較等合わせまして、前後にあります橋りょうの耐震老朽化対策の検討も進めています。また、のり面対策として、上北山村白川地区内ののり面崩壊箇所、今、発注手続中で、年度内に工事着手する予定です。

上北山村から下北山村の区間は早期の整備を！

奈良県へき地教育研究振興大会 野迫川村
天川村130周年記念式典
厚生委員会県外視察
(熊本県こども総合療養センター・熊本県議会)



厚生委員会 県外視察
(熊本県こども総合療養センター)

4月
当選者全員協議会にて当選証書授与 県議会
5月
国道169号改良促進協議会
南部議員振興連盟総会 県議会
議員全員協議会

南門復元整備工事特別公開セレモニー
臨時議会 県議会
ベトナム友好協会第65回全国総会 県議会
予算概要説明会 県議会

6月

吉野郡手をつなぐ育成定期総会
水神祭 丹生川上神社中社
厚生委員会 県議会
南奈良総合医療センター 事業説明
地域公共交通等特別委員会 県議会

十津川村商工会青年部 総会 十津川村
6月定期議会 開会 県議会
新十津川町 開町記念式 北海道

代表質問 県議会

吉野郡身体障害者福祉協会連合会 総会
吉野林業振興協議会 総会
一般質問 県議会

厚生委員会「本で最も美しい村」連合 総会
7月

脱原発をめざす奈良県議会議員連盟 県議会
奈良県南部陸上自衛隊駐屯地誘致推進協議会
熊野川流域対策連合会
吉野川を守る会 総会

紀伊半島三県交流会議

engawaリニューアルオープン

ウォーターバルーンバトル

部落差別等撤廃と人権確立を目指す奈良県民集会
8月

地域公共交通対策等特別委員会

環境美化吉野川フェスタ

箸祭り

～活動報告（2019年）～

令和2年度政府予算編成等に関する提案・要望 説明会
厚生委員会 県内視察

(奈良県障がい者総合支援センター・一般社団法人
SPSラボ若年性認知症サポートセンターきずなや)
高校生議会 県議会

十津川村慰靈祭

新人議員研修会

ベトナム社会主義共和国建国74周年記念式典

地域公共交通対策等特別委員会 県議会
9月

議案説明会 県議会

地域公共交通対策等特別委員会 県議会
9月定期議会 県議会

おたっしゃ下市 下市観光文化センター

国道168号十津川道路 開通式

地域フォーラム(黒滝村)

代表質問・一般質問 南部振興議員連盟 総会
県議会

十津川村戦没者追悼式

厚生委員会

予算委員会

10月

下市中学校 運動会

花吉野えんめい保育園 運動会

きたの保育園 運動会

下北山村130周年記念式典

本会議 県議会

丹生川上神社 中社 秋季大祭

八幡神社 秋季大祭

本会議 県議会

奈良県護国神社 秋季大祭並びに即位礼奉祝奉告祭 三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会

南部振興議員連盟 総会
町政功労者表彰・芸能発表会
地域フォーラム(川上村)

がん患者等との懇談会 県議会

東アジア地方政府会合

郡身グラウンドゴルフ大会

もみじ祭り

ヒューライツ議員団研修
都道府県議会議員研究交流大会

ふるさと奈良の集い

地方議会活性化シンポジウム
丹生川上神社 下社 秋季大祭

川上村130周年記念式典

近畿6府県議員交流フォーラム

南奈良総合医療センター 会議

荒井知事を囲む会

脱原発をめざす奈良県議会 県外視察

(美浜原子力発電所・福井県議会)

地域公共交通対策等特別委員会 県議会

11月

12月定期例会 代表質問・一般質問 県議会

へき地教育振興懇親会

政策検討委員会

厚生委員会

第11号様式の15(第5条関係)

政務活動費備品台帳(31年度)

議員名: 浦西敏史

番号	名称	規格・機種	数量	取 得			処 分 の 状 況			保管場所	(購入者)
				単価 (単位:円)	取得金額 (単位:円)	年月日	価格	処分の内容	年月日		
1	パソコン	Microsoft	1	152680	152680	令和1年12月11日				政務活動事務所	EDION
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
年度計				152680	152680						

- 注
- 1 1件の取得価格が3万円以上(消費税込み)の備品等の財産を取得した場合、この台帳に記入するものとする。
 - 2 年度ごとに集計し、政務活動費支報告書とともに議長へ提出することとする。
 - 3 購入単価(税込)は上限10万円とする。(ただし、パソコンを除く。)
 - 4 処分の内容欄には、売り払い、廃棄処分等別に記入すること。
 - 5 備考欄には取得の相手方又は処分の相手方等を記入すること。
 - 6 保管場所を明らかにし、現物確認ができる状態とすること。